



金総なぎさ通信

平成28年5月11日版
校長 磯崎 薫

「み・そ・あ・じ・か」の「み」

「みそあじか」の「み」は身だしなみ。

意味は、容姿や見た目、衣服やファッションなどを良くしようという心がけ。またはそうしたマナーのこと。つまり、その場、その時にあった身なりであり、自分以外にその場にいる人に対する配慮のことを表した言葉です。この学校で学ぼうとする姿勢、誠実さ、品格にもつながります。教えてくださる先生への心配りを形に表したものです。

ちゃんとした服装は、会った人に良い印象を与えます。もともと、人は、初めて会った人やよく知らない人は、見た目から様々なことを想像し、判断をします。人は本能的に、今わかる情報＝見た目から判断してしまうものなのだそうです。身だしなみがいつもだらしく、相手に不快感を与えてしまうものはもちろんですが、高校生として、すがすがしい印象を相手に与えることは大事なことだと思います。

一人ひとりが、金総を代表していると思っています。街角で偶然見かけた、一般の方は、金総の制服を身に着けている高校生を見かければ、それで金総全体の印象を見た目で判断しているものです。金総全体の「価値」を上げることが、回り回って、自分にも跳ね返ってくると思います。君たちにとっては、母校は、この金総。母校は一生ついてきます。この金総では、いくつもの部活が地域の行事に参加し、感謝されています。また、ボランティア活動で学習支援や障害者支援に取り組んでいる生徒もいて、地域からの信頼も受けているところです。また、企業や大学など卒業して君たちが進もうとしている分野の方からも温かい目で見てもらっています。

金総の制服は、他の一般の方とを分け隔てるためのものでもあります。金総の制服を着ていることで、学校関係者か部外者かを判断し、皆さんの安全を守ってまいります。また、この金総のシンボルといった意味合いも持っていると思います。

たった、3年間しか着られない、レアな服装だとも言えます。身だしなみ、気にして、大切にしてください。



田島 梨央さん(3-6)
全国高校生マイプロジェクト
個人・グループ部門 総合1位

うれしいニュースです。

3年次の田島さんが、上記の大会で見事総合1位。表彰状を見せてもらいましたが、ひとつは文部科学省大臣 馳浩氏 からのものと、もうひとつは文部科学大臣補佐官 鈴木寛氏 からのものでした。

田島さんの地元、逗子・葉山での防災での取組をプレゼンしたのだそうです。東日本大震災を契機に、自分たちの街について考えようと30人ぐらいのグループを結成し、肩肘の張らない若者ならではのフレキシブルな活動を展開し、多くの地元の参加者を集める活動を展開しているそうです。

私のほうでいくつかインタビューを実施しました。以下は、そのときの受け応えの一部です。

Q グループを立ち上げて、まずどのような活動をしたのですか？

A 2014年2月に、宮城県女川町から人々を呼んで、地域の郷土料理(さんまのつみれ汁)の料理教室を開きました。(女川町は最も震災被害が過酷であった地域のひとつ。15Mを超える津波で、千人を超える死者・行方不明者)

Q どうして、そのような企画を行ったのですか？

A 3.11を思い出してもらおう、人とのつながりを広げようと企画しました。

Q 次に、どんなことを行ったのですか？

A 地元の防災について、目を向けました。今まで津波等が起こったときに、避難できる場所について考えたことがなかったので、防災遠足を行って、避難場所を巡ってみました。

Q どんなことがわかったのですか？

A 避難場所までの経路が掲示がなくてわからないこと、避難ビルはあってもその高さで、津波に耐えられるのか疑問がわきました。

Q ほかにどのような活動を？

A 2016年の3.11には、音楽イベントをこの日にあわせて企画しました。同年代のバンドを5バンド参加してもらって、3.11を考える機会にしました。

☆他にも様々な活動について教えてもらいました。